

田園調布九条しんぶん

発行
田園調布九条の会
連絡先 (3759-5521)
駒木根智行
HPは「田園調布九条の会」で検索し
田園調布九条の会 Wix.comへ

21年度予算案発表

軍事費7年連続の“過去最高”

菅内閣は21日、来年度政府予算案を閣議決定しました。菅政治は誰のために何のためにあるのかあまりに明け透けで、恥ずかしげもなくよく発表できるものだと思います。コロナ禍のもとで仕事も生活にも困窮し格差がますます広がっているときに、活動の自粛を求めるだけで援助の手を差し伸べず自助を徹底的に要求する。コロナ禍を年金や医療の削

減と中小零細企業淘汰のチャンスとし、産業の再編と株価のつり上げに利用する。一方で軍事費は、海外で武力行使ができる体制づくりと敵基地攻撃できるミサイルなどの武器の爆買いなど、国のあり方の変質に道を付けるものになっています。こんな政治は現憲法下で絶対にあってはなりません！

21年は総選挙の年 憲法守る政府を実現しよう

「ABCD包囲網」にみるように、敵を外につくりフェイクニュース等で国民の意識を操作し、国政を意のままにする政策は権力者の常套手段です。憲法前文は「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存する事を宣言し、この憲法を確定する。」と高らかに謳いました。政府の暴走を許さない縛りをかけているのですから、今こそ主権者の力を発揮するときです。

21年度政府予算案は、憲法の大原則に背反し、敵基地攻撃能力を持つ武器を買い揃える道に踏み出しました。それも米軍と一体の軍事力＝現地軍としてです。「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを

確認する」この日本国憲法の立ち位置を否定し、平和と対等の友好関係の発展を阻害する軍事優先の政治＝政府の行為を、主権者国民として認めるわけにはいきません。あれほど改憲の策動を巡らせた安倍内閣を退陣に追い込み、今また菅内閣の早期退陣を求める声が満ち始めている事が、日本国憲法がしっかり根付いていることを何より証明しています。

2021年は総選挙の年です。コロナ禍の最中に生活実態を無視し軍備増強に狂奔する自民・公明連立政権を倒せる選挙であり、立憲政党が手を携えて憲法に基づく政治と主権者に奉仕する政府の確立を実現できる選挙です。平和と民主主義を求める勢力の大きな団結に向けて、共に力を合わせたいと思います。

田園調布九条の会 第12回総会のご案内

コロナ禍でなかなか思うように動けませんが、今後の活動をみんなで話し合ひましょう。どなたでも参加できます。どうぞお越しください。

日時：2021年 1月31日(日) 14時～16時
会場：嶺町集会室(嶺町特別出張所3階)



新空港線（蒲蒲線）につき一言

12月26日新空港線計画を考える会（準備会）が開かれた。

大田区は新年度でも新線推進をめざして積立金を予算計上する予定で、積立金総額は70億円に達する。計画は平成28年の（東急多摩川線を延長し、京急線を経て羽田に至る）ものと変化ない。矢口渡駅より地下に入り、京急大鳥居駅で地上に出、羽田に至る。東急蒲田駅地下駅、京急蒲田地下駅を新設して結合する。東急矢口渡～東急蒲田地下駅間工事を一期、その他を二期とする。

両社の線路幅の相違は新方式を研究開発して解決を図る。事業主体は第三セクター設立を予定し、一期工事で1,260億円を想定している。

埼玉や多摩地域の住民の羽田へのアクセスは抜本的に改善し、蒲田商店街をはじめとする大田区経済は活性化、大発展する。

果たしてそうであろうか？

これが実現したら（田園調布から地下駅までは8ないし10両の電車がほぼノンストップで走る。従来線は相当減となり待ち時間が増大する。踏切は開かずの踏切と化す）などなどさへ予想される。

関係機関の協議はもたれたようだが第三セクター結成はなく、内容ある協議も進んでいない。積立金などを、計画推進を意図しているのは大田区だけで他のどこも具体的取り組みの動きはない。

保健所の削減（大田区では4か所が1か所）、都営病院の“合理化”でコロナ禍は深刻度を増している。

国や都、京急の動き等で新線完成の現実的可能性は著しく低いと言わざるを得ない。

区の重点施策、緊急政策はコロナ禍対策などではないだろうか？区民の命と暮らしを守るまっとうな区政にしていけることが切に求められていると考えるが間違っているだろうか。

（川合 光也）



今年を振り返って

憲法改悪を目論んだ安倍内閣はコロナ対策に失敗し、有効な対策＝徹底的な検査と感染者の隔離をすることなく責任放棄し倒れた。後継の菅内閣も本当に困っている人々への支援や医療のバックアップをやっていない。

そのような内閣が空母の保持や敵基地攻撃能力云々等もってのほかであると思う。日本を“普通の国”＝戦争を出来る国にさせないために、9条を守り抜かなければならないと思う。

（川代 康夫）



私の一年をふりかえって

今年の漢字一文字は「密」だそうです。皆さんの一文字はどんな漢字でしたか。私の漢字は一文字に絞ることができず【喜怒哀楽】の四文字になりました。

【喜】喜ばしいことはあまりなかったが「ランプだけどハートがない。シンゾウだけど心がない」と揶揄された、日米トップの退陣。後任の首相は菅という字を書くけどカンが悪い。自助を掲げて、国民の声を聴かない頑固者。早期に退陣させて喜びたい。

【怒】モリ、カケ、サクラ、検察庁人事で公文書を改ざんし、法と秩序を無視した安倍首相。後継を謳った菅首相の最初の仕事が学会会議6人の任命拒否。理由が総合的、俯瞰的だと。説明責任を軽視する政権の本質あらわ。国民を馬鹿にするな。怒、怒、怒。

【哀】コロナで3000人以上の人たちが亡くなった。自公政権の無為無策が尊い命を奪ったのだ。医療関係者は休みも満足に取れない中で献身的に働いている。税金を使ってGo To トラベルだ、イートだはあまりに不公平。思いやりのない政治は哀しい。

【楽】楽しみにしていた飲み会がすべて中止。後期高齢者ではじめた陶芸教室も2年半。今年から待望のロクロ入り。年齢のせいかわれの悪い生徒に、親切で優しい先生。つくる喜びを体と心で感じながら不出来な作品を自己満足で楽しんでいる。

来年は総選挙。怒りと哀しみではなく、市民と野党の共闘で憲法を生かし、平和で健康的で文化的な生活ができるよう、肩肘を張らず喜楽にやっけて行けたらと思う。

（熱海 安男）

カンパでのチラシ配布にびっくり 毎号が楽しみです



「田園調布九条しんぶん」は、身近な問題から国会や政治の動向など敏感に情報を提供していただけるので毎回楽しみにしております。特に11月30日158号では、「九条チラシ」1万3千枚の地域配布を一面トップで知らせています。現物が同封されてきました。これがカンパで賄われたことに本当にびっくりしました。紙質も良く、盛りだくさんな情報で、大変なご努力に感心しました。野党共闘を願う市民連合の「15項目要望書」が掲載されており、これを読むと今のコロナ禍に無為無策で、国会無視の強権的な菅政権に替わる新

たな政治を実現しなければと思いを新たにします。ただ惜しむらくは、「チラシ」に、もっと大胆に「九条の会」への参加・協力を訴えた方がよかったかな？(私的感想ですが…)

それから二面の記事「責任なしとは言わせない～大深度工事」、黄昏太郎さんの記事は大変参考になりました。調布市の地面陥没事件は、品川・大田区の足元の問題です。今後も住民の声を紙面にのせて、読者をいっぱい増やしてください。

(品川区の読者 高橋 まゆき)



ままりんのファンです

「田園調布九条しんぶん」は4年位前から読んでいますが、多面的な活動がよくわかり参考にしています。また「この町がちょっと好き」のままりんさんは、子育て世代の貴重な書き手で、その独特のリズムがある文章のファンです。いつも最初に目を通しています。

新聞折込のチラシ、拝見しました。カラーで見出しも大きく、9条の会が何をやっているか分かりやすい内容です。野村まり子さんの挿絵も素敵で、読む人にアピールしたことでしょう。

最後に「9条の会くにたち」は、一橋大教授や俳優の宇梶剛士さんらの呼びかけで発足しました。毎月、「9条カフェ」を開き、「平和に関するあなたの

想い」などをテーマに話し合ってきましたが、今は中断しています。ただし、田園調布とは異なり、ペーパーよりネットに重きを置いていたのは反省点です。

現在は「非戦のまち・くにたちの会」「若者9条の会」などのみなさんと「土曜夜会@kunitachi」を立ち上げ、毎週土曜日国立駅頭で、時に楽器の演奏などをまじえ宣伝を中心に進めています。また安保法制の廃止を求めるフラワーパレード、望月衣塑子(東京新聞記者)さんや山本太郎さんなど、話題の人の講演会も開いてきました。

(国立市 佐山 義則)



新聞全紙折込み広告 ご協力ありがとうございました

本紙10月号で呼びかけた新聞全紙折込み広告の運動は、11月末～12月にかけて、朝日・毎日・東京・日経・産経(一部)・赤旗の各紙に折込みを実施し、無事に目的を達成することが出来ました(読売新聞だけは断られました)。枚数は合計12,600枚です。寄せられたカンパは12月24日現在、約70人の皆さんから30万円近くになっています。九条を守る運動が多くの皆さんの熱い

志に支えられていることを実感しました。御支援・ご協力に心からの感謝を申し上げます。来年は改憲の息の根を止める年になるようお互いに頑張っていきましょう。

なお、チラシに記入した郵便局の振替口座番号の下二桁48を84に誤記するという校正ミスを犯し、多くの方にご迷惑をおかけし致しました。謹んでお詫び申し上げます。

当面の日程	1月5日(火) 1月19日(火) 1月31日(日)	14:00~15:30 18:30~ 14:00~16:00	運営会議 19日国会前行動 第12回総会	嶺町文化センター調理室 (17時 多摩川駅集合) 嶺町集会室(特別出張所3階)
-------	---------------------------------	--------------------------------------	----------------------------	---

愛♡LOVE♡遊

家族の寺子屋、人の世とは(19) 山代 勁二(農業研究者)

まあちゃんの経済学(14) 税とは何でしょうか?(3) じいじの話・庄屋の老母のぬか袋(2)

おじいちゃん「江戸時代の終わりになると農地も増え続け、少しでも田畑を見つけ税源を掘り起こそうと検地・検分が頻繁に行われたのじゃ」

まあちゃん「江戸時代は経済も、文化も科学も発達したのでしょ?」

おじいちゃん「大発展したよ。お米の反収も何割も増え、開墾も進み、またそれにつれて商業が盛んになり工業も進歩し、近代日本の基礎ができた。しかし封建制度が限界を示しつつあったんだな。しかし度重なる飢饉が発生し百姓の状態は向上しなかった。そこへ、検地では目盛りをごまかし農地を水増しして計算し

たり、未墾の土地まで農地に参入したりで2割も3割も増税される無茶な取り立てもあったんじゃない。今話をしている近江の国の出来事は、お上の不条理な検地をやめてくれという庄屋と百姓たちの物語なんだ。人々は庄屋の老母の肝っ玉にも励まされ代官所に、検地延期の願いを出す動きを始めた」

まあちゃん「やむにやまれぬことだったのね」

おじいちゃん「抗議は幕府から派遣された検地役人たちに直接向けられた」

まあちゃん「中央派遣の役人?」

おじいちゃん「天保の改革という大号令の下でね。これはアベノミックスみたいな歴史を元に戻すような反動的な改革じゃった。また幕府の中もかなり腐敗が進んでいた。無理な検地もその一つだ。それでな、いいかい?百姓とそれを仕切る庄屋たちの抗議がひろがりアツという間に驚くべき結末をもたらしたのだ」

まあちゃん「アツと言う間の結末?お上に抵抗すれば

大変なお咎めを受けるでしょ?」

おじいちゃん「そこでその訴願の理由付けとして検地のでたらめさを告発した。水野忠邦の天保の改革は綱紀肅正を表看板にしている。検地・検分で公儀の役人は村に滞在する時、日当はありあわせの一汁一菜と低額に抑えられていた。もちろん酒肴はだめだった。役人は当初はそれを守っていたが、検地が進むにつれてすぐにぐにやぐにやになった。料亭から仕出しを取り寄せ、それを村役人にツケを回す、その後はあてずっぽうの検地をして、ワイロを受け取る。そういうことがメインになる“調査”になった」

まあちゃん「庄屋の老母は証拠集めをしたんだ」

おじいちゃん「ワイロを受け取った公儀の役人はこうぬかしたそうじゃ。“お前たちの村の利益を思えばこそわれらも心を砕いておる”と。だから袖の下次第で石高の増加は斟酌するとな」

まあちゃん「あきれた」

おじいちゃん「土地台帳の客観性は失われた。ワイロを贈らなかつた村々には、12尺2分と2分を水増しした12尺検地棒を振りかざし、明日からはこれで実地測量をやる”とすごんだ」

まあちゃん「まあ、ひどい」

おじいちゃん「水増検地棒で測量した土地台帳を庄屋に請書として捺印させ、以降の税はこれに基づいて計算される。ひどい腐敗に検地反対の機運が盛り上がり、ものすごい抗議運動が起こった。(続)



4 人家族の日記

この町が
ちょっと好き

ままりんの師走
娘の中学校では、冬は制服のブレザーの下に、黒っぽいセーターなどを着ても良いことになっている。娘がセーターを着て学校に行っていたら、ある先生に、丸首のはダメ、学校規定

ではブイ字のものに決まっている、と言われたとの娘の話…。何で丸首のはだめなんだ〜?と思ったままりんは学校に電話した。「丸首のしか持っていないのですが、なぜV字でなくてはダメなのですか?」と電話口の先生にお伝えした。そしたら数日後に副校長先生から電話があり、リサイクル品で100円くらいがあるのでそれを使いますか?と聞かれた。ここの中学のPTAでは、不用になった制服などを募り、安く売るとりく

みをやっているのだ。な、なんか神対応…! 予想外の展開に、えっ…と驚きつつ、ありがたくお願いした。…区立校にしては気が利くな〜!…と柔軟な対応に感謝しつつ、ケチってちょっと恥ずかしかったな、という思いも…。でもなんかほっこりした気分。そんなままりんの年終わりでした。

